

玉野市地域公共交通会議構成員 各位

玉野市地域公共交通会議
会 長 柴 田 義 朗

新病院（たまの病院）への運行に係る今後の協議について

時下 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、市政の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先般の第5回玉野市地域公共交通会議（11/21）では、前回会議（10/29）に引き続いて、「新病院（たまの病院）への運行について」を協議する中で、様々なご意見を頂戴したところでございます。

【会議を通じた検討、協議内容等】

（1）通常のタクシーによる運行案

通常タクシーによる乗合運行を行うことで、通院に限定して運行するもの。

→ 公共交通としては、利用目的を制限すべきでない。【10/29 交通会議意見】

→ シータクで三井病院に通院出来ていた人が引き続き通院できるよう、シートクで通院手段の確保を目指すべき。【10/29 交通会議意見】

（2）シートクによる運行案

これまでと同様にシートクで運行するもの。（利用目的を制限しないことから、通院以外にも利用が可能となるもの）

→ 他エリアとの公平性を担保するのであれば、荘内エリアや玉原和田日比エリアだけでなく、東側のエリアからも、たまの病院に行けるようにすべき。【11/21 交通会議意見】

→ 公平性を担保するために、市内全エリアからたまの病院へシートクで運行することは、運転手不足の中で、実施が困難。

これらの検討や協議結果から、事業者の人的資源や運行に係る経費、公平性の担保などの課題から、どちらの検討案も実証実験後の在り方や展開が描きにくい状況にあることや、公平性の担保に向けては、シーバス、シートクの在り方を含めて継続的な協議が必要と捉えております。

このことから、令和7年1月6日を目指していたタクシーやシートクでの新病院への運行は見送ることとし、公共交通の全体的な見直しの検討と併せて、今後の公共交通会議で継続して議論を重ねたいと考えています。

つきましては、まずは、交通事業者と事業者会議などを行いながら検討しますので、この議題に係る交通会議については、その後に改めて開催させていただきます。